

第4回 放射線災害・医科学研究拠点 ワークショップ

日時: 2023年2月21日 (火)

場所: 放射線先端医学実験棟 5階 講堂

9:00- 9:05 【開会挨拶】 田代 聡 (放射線災害・医科学研究拠点 本部長)
9:05- 9:10 【来賓挨拶】 山本 武史 (文部科学省研究振興局 大学研究基盤整備課 課長補佐)

共同利用・共同研究課題

- 9:10- 9:25 内村 有邦 (放射線影響研究所)
「低線量放射線被ばくの継世代影響のゲノムワイド解析系の開発」
(福島原発事故対応プロジェクト課題① 低線量・低線量率放射線の影響に関する研究)
- 9:25- 9:40 三島 一彦 (埼玉医科大学)
「悪性グリオーマに対する放射線増感による新規治療法の開発」
(重点プロジェクト課題⑦ 医療放射線研究)
- 9:40- 9:55 島崎 達也 (熊本大学)
「放射線災害時におけるESR線量計測による被ばく線量評価の現状と低線量評価のためのESRスペクトル解析法の検討」
(福島原発事故対応プロジェクト課題① 低線量・低線量率放射線の影響に関する研究)
- 9:55-10:10 今岡 達彦 (量子科学技術研究開発機構)
「ラット乳腺におけるLRCとDNA損傷保持」
(福島原発事故対応プロジェクト課題① 低線量・低線量率放射線の影響に関する研究)
- 10:10-10:25 孫 智超 (筑波大学附属病院)
「東日本大震災後の避難及び帰還住民の疾患発症・死亡とその分布状況に関する研究」
(福島原発事故対応プロジェクト課題④ 放射線災害におけるリスクコミュニケーションのあり方等に関する研究)
- 10:25-10:40 江口 依里 (福島県立医科大学)
「放射線災害後の笑い等のポジティブな因子と生活習慣病発症との関連」
(重点プロジェクト課題⑤ 放射線災害における健康影響と健康リスク評価研究)

トライアングルプロジェクト

- 11:00-11:20 鈴木 啓司 (長崎大学) — 低線量被ばく影響とリスク研究 —
「低線量率・低線量放射線被ばくによるゲノム変異の分子機序解明」
- 11:20-11:40 一戸 辰夫 (広島大学) — 放射線障害医療 —
「進行悪性腫瘍に対する包括的癌免疫療法の開発」
- 11:40-12:00 鷲山 幸信 (福島県立医科大学) — 医療放射線研究 —
「アルファカメラとSPECT診断を用いたドジメトリーの融合とモンテカルロシミュレーションによる理論予測との比較による射線障害の予測」

特別講演(拠点ネットワーク間の緩やかな連携)

- 12:00-12:20 関野 徹 (物質・デバイス領域共同研究拠点 本部長/大阪大学産業科学研究所 所長)
「新たなステージへ向かう物質・デバイス領域共同研究拠点の活動:クロスオーバー連携の有効性」
- 12:20-12:40 影近 弘之 (生体医歯工学共同研究拠点 本部長/東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 所長)
「生体医歯工学共同研究拠点の活動について」
- 12:40-12:45 【閉会挨拶】 宮崎 泰司 (放射線災害・医科学研究拠点 副本部長)
- 12:45- 集合写真撮影

【お問い合わせ先】
広島大学霞地区運営支援部総務グループ
TEL: 082-257-5186
E-mail: housai@hiroshima-u.ac.jp
URL: <https://housai.hiroshima-u.ac.jp>